

遺伝子解析研究に関する情報公開について

『ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針』第3章 7 (14)アからエに従って情報を公開します。

研究課題名	大規模地域バイオバンクを用いた生活習慣病関連遺伝子の検討
研究機関の名称	自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門
研究責任者の氏名	小谷 和彦
研究対象	平成 20 (2008) 年 8 月 5 日から平成 22 (2010) 年 3 月 31 日までに「大規模地域ゲノムバンクを用いた生活習慣病の分子遺伝学的検討」(本学倫理審査委員会承認番号: 遺 09-16 号)の研究に同意をいただいた方の試料 (DNA もしくは末梢血) と臨床情報を対象とします。
研究の目的・意義	生活習慣病やこれに類する疾病は、複数の遺伝子の多型や変異の組み合わせで病態を形成します。大規模地域ゲノムバンクは日本全国の地域からの試料とともに臨床情報とがセットになっており、これらを組み合わせで解析し、活用することは集団の疾病の理解に役立ち、また、地域医療に還元し得る資料となります。
研究方法	末梢血から分離した DNA を用いて、網羅的に遺伝子の多型や変異の解析を行います。遺伝子頻度や疾病との関連性を統計学的に分析します。
研究期間	許可されてから、2030 年 3 月 31 日まで。
研究に利用する情報	生活習慣、家族歴、身体所見、治療状況、一般臨床検査データといった臨床情報と、生活習慣病関連遺伝子の多型や変異を解析して研究に使用します。自治医科大学で分析しますが、精度管理と試料処理能力に鑑みて、遺伝子解析の一部を国内の検査機関に発注して測定することもあります。その際には、必要最少量の試料を送付します。試料と情報とは、収集時に連結不可能匿名化、すなわち個人を識別できないようになっています。本研究において、対象者の皆様が不利益を受けるようなことはありません。なお、本研究で扱う試料、情報、解析結果は研究終了後の 10 年間は保存します。
研究に関する情報公開の方法	研究の独創性の確保に支障がない範囲内で研究計画を閲覧できます。
個人情報の取り扱い	データは個人情報と紐づかないよう匿名化され、安全に管理されています。
問い合わせ先	<p>* 研究責任者 自治医科大学 地域医療学センター 地域医療学部門 教授 小谷 和彦 〒329-0498 栃木県下野市薬師寺 3311-1 電話 : 0285-58-7394</p> <p>* 苦情の窓口 自治医科大学 大学事務部 研究支援課 電話 : 0285-58-7576</p>